

グループホーム

共同生活援助・介護事業

地域で暮らす支援

障がいを持つ人たちが、作業所などで自分が働いて得た給料と障がい者年金のみで自立して暮らせる生活環境を提供しています。

グループホーム 若竹

障がいを持つ人たちが共同生活を営むグループホーム。NPO法人が運営する障がい者のグループホームとしては県内第1号です。



ケアホーム 逢坂の家

全室バリアフリーで車椅子の方も入居されています。



グループホーム やすらぎの家

平成20年8月に県の指定を受け認可施設となりました。



グループホーム みずならの家

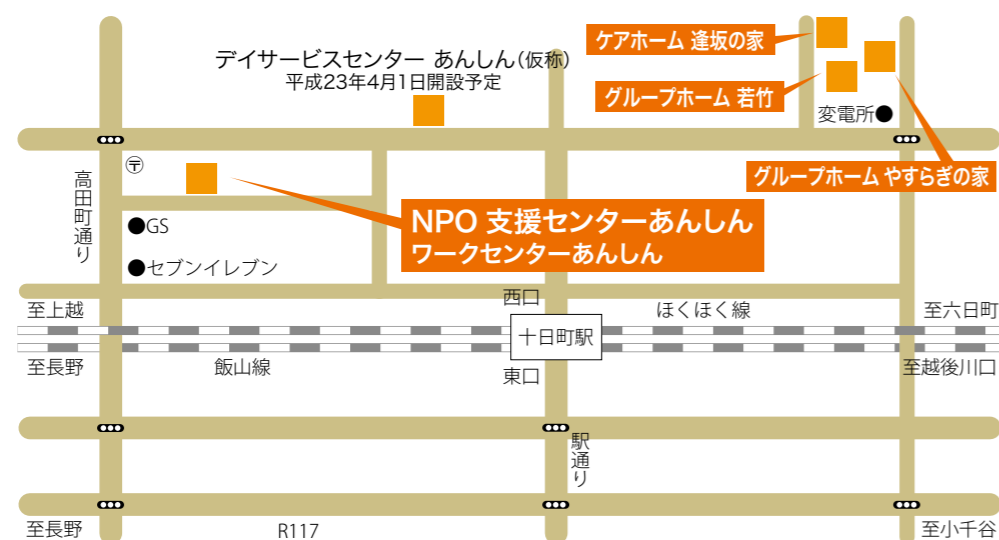
平成21年11月1日に県の指定を受け認可施設となりました。



児童送迎サービス



十日町市の委託を受けて、小出養護学校ふれあいの丘分校の児童送迎を行っています。



NPO法人 支援センター あんしん

〒948-0065 新潟県十日町市子371
TEL (025) 757-5511 FAX (025) 757-1144
<http://mx51.et.tiki.ne.jp/~ansin/>

多機能型事業所 ワークセンターあんしん(就労継続支援B型)

障害者ディサービスセンターあんしん(生活介護・地域生活支援事業)

日中一時支援

グループホーム

児童送迎サービス



NPO法人
支援センター あんしん

障がい者福祉サービス事業所ワークセンターあんしん

就労継続支援事業B型

障がいがあるため就職することが困難な方々が、地域社会において自立した生活を送ることができるように様々な作業を提供しています。

親亡き後、障がい者が自立するには障がい者年金プラス2～5万円の給与が必要となります。そのための働く場がどうしても必要なのです。



ワークセンターの活動

トイレトペーパー製造

私たちの工場のトイレトペーパーは、新しいパルプを一切使用せず、再生が難しい雑古紙を再利用しています。障がいのある方やボランティアが中心となって、お客様に満足して頂けるよう一層懸命にがんばって作っています。



福祉施設の清掃、高齢者介助の研修、クロネコメール便配達、クリーニング、融雪事業所の作業補助、ゴミ分別や外仕事などの仕事も行っています。

あんしんらんどりー

十日町市荒屋あ410番地 TEL (025) 763-4488



運営する事業

会長 本田 欣二郎

副会長 樋口 功 他理事 8名

正職員 7名 臨時・パート・ボランティア職員70名

所在地 十日町市子371 (高田町3丁目)

電話 025-757-5511

1. 多機能型事業所 ワークセンターあんしん

所長 柳 茂男 定員40名

(1) 就労継続支援事業B型

(ア) 主たる事業所ワークセンターあんしん

所在地 十日町市子371 (高田町3丁目)

定員24名 生活支援員2名 職業指導員7名

(イ) 従たる事業所 あんしんらんどりー

所在地 十日町市荒屋あ410番地

定員6名 生活支援員1名 職業指導員1名

メンバー4名

(ウ) 生活介護事業所 ディサービスセンターあんしん

所在地十日町市子371番地 (高田町3丁目西)

2. 生活介護、地域生活支援事業(ディサービスセンターあんしん)

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるように、入浴、排泄及び食事の介護。生産活動の機会を提供し毎日いきいきと過ごせるようサポートします。

3. 日中一時支援

児童の一時預かり支援サービス。

4. グループホーム

障がいを持つ人たちが、自立して暮らせる生活環境を提供。

・グループホーム 若竹

平成19年に県の指定を受け認可施設となりました。NPO法人が運営する障がい者のグループホームとしては県内第1号です。現在6名が入居中。

・グループホーム やすらぎの家

平成20年8月に県の指定を受け認可施設となりました。現在5名が入居中。

・グループホーム みずならの家

平成21年11月1日に県の指定を受け認可施設となりました。現在5名が入居中。

・ケアホーム 逢坂の家

平成21年4月1日に県の指定を受け認可施設となりました。現在4名が入居中。

障がい者ディサービスセンターあんしん

生活介護事業
地域生活支援事業

重い障がいを持つ方にも安心して充実した毎日をいきいきと過ごせるように多彩な支援メニューでサポートします。

個別活動

利用者一人ひとりに合わせて作成した「個人ケア計画」もとに短期目標と長期目標を設定して、さまざまな活動を行っていきます。みんなが目標に向かってがんばっています。

入浴サービス

ひのきの香りのお風呂です。毎日午後から利用できます。

休日余暇支援

温泉やカラオケ、ミニキャンプ、りんご狩り、書道教室など、普段なかなかできない活動が盛りだくさん。

外出・お買物

外出や季節ごとの行事を通じて自立を促します。なかでも月に1回のお買物はみんなの楽しみのひとつです。



日中一時支援

保護者の方が出掛けるときなどの一時預りや、春、夏、冬休み中の児童対象の支援サービスです。

学童児童の放課後や早い出勤のお母さん方のためのお預りも行なっています。



沿革概要

平成14年

11月 1日 小規模作業所(支援センターあんしん)開所式

平成15年

4月 1日 小出養護養護学校ふれあいの丘分校児童の通学送迎開始(十日町市・川西町・中里村よりの委託事業)

6月24日 新潟県勤労者福祉財団よりNPO助成事業の100万円助成決定(トイレトペーパー製造機械及び設置工事費の一部)

7月10日 地域福祉を考える情報誌「あんしん」創刊号発行

11月 1日 十日町市子371番地に工場を借りトイレトペーパーの製造開始

平成16年

7月20日 障害者支援費制度基準該当居宅支援事業所登録申請(十日町市・津南町・川西町・中里村・松代町・松之山町)

9月 1日 知的障害者ディサービス事業開始

10月23日 午後5時56分発生した中越大地震(震度6強)によりワークセンターあんしんの被害が甚大。幸い地震の発生が土曜日の夕方であったため利用者、職員とも施設内にいなかったため人的被害は免れた。地震発生後余震が続き全市民に避難勧告がだされる(10月31日解除)。

11月 1日 ワークセンター作業及びデイサービスを再開
ワークセンターの建物は半壊し利用できる状態でないため隣接の「まごころの家」を借りて作業再開する。

平成17年

1月12日 ワークセンターの建物を購入(100万円)、改築。土地について賃貸借契約

5月26日 ワークセンターあんしん再建開所式・祝賀会

10月10日 クロネコヤマトのメール便配達業務をワークセンターで取り組み開始

平成19年

4月 1日 就労継続支援事業B型「ワークセンターあんしん」開始

6月 1日 共同生活援助事業「グループホーム若竹」開始

7月 1日 日中一時支援事業(十日町市・津南町)開始

平成20年

8月24日 グループホームやすらぎの家開始

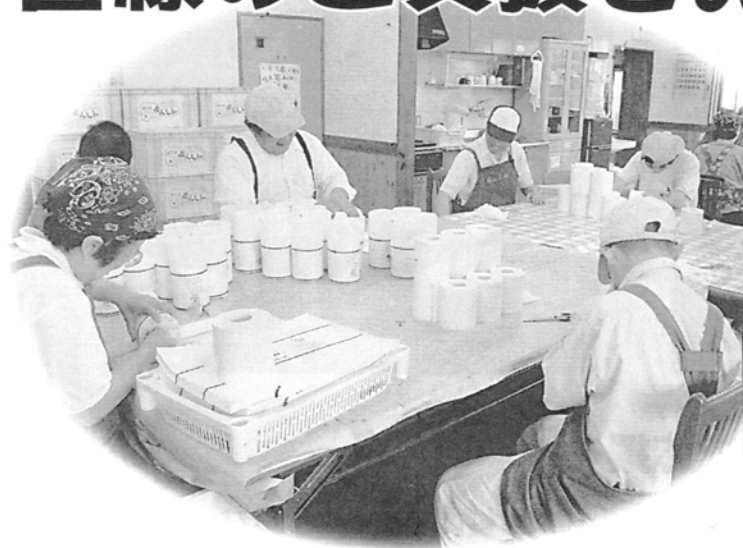
平成21年

4月 1日 共同生活介護事業「ケアホーム逢坂の家」開始
11月 1日 共同生活援助事業「グループホームみずならの家」開始

平成22年

4月 1日 多機能型事業所(就労継続支援事業B型)・(生活介護援助事業)開始

トイレットペーパー定期購入の 皆様のご支援をお願いします



もっと広げたいな!
トイレットペーパーの輪



NPO法人支援センターあんしんは、新潟県十日町市で知的な障がいや身体・精神にハンデキャップのある人たちが、健常者と同様の生活をする権利が保障される社会の実現を目指して活動しています。

具体的には、障がい者にトイレットペーパーの生産など、様々な仕事を提供して、自立支援をするワークセンターあんしん、生活の場を提供するグループホームやデイサービス、行政から委託を受け障がい者や障がい児の送迎を行う送迎事業などを行っています。



グループホーム「若竹」みんなで庭づくり



あんしんデイサービス

ちょっと貴方の力添えを

残念ですが、現代の社会では、障がいを持った人たちが自立した生活をおくるためにはいろいろな困難が立ちはだかります。この困難は健常者の皆様にとっては些細なことであっても、障がい者が乗り越えるには相当な労力を必要とします。障がい者が立ち往生しているときに出合わせたら、ちょっとだけ貴方の力添えをお願いいたします。

社会参加と自立を目指して

「ワークセンターあんしん」は、障がいのある人たちが地域社会の中で、自分の力で働き、生活する糧を自分の力で稼ぎ、普通の人と同じ様に普通の生活を送れるように仕事を提供し、職業訓練を行っている施設です。

障がいがあるため就職することが困難な人たちが、「あんしん」で仕事をするにより、働く喜びを実感するとともに、社会の一員としての自覚を促し、就労に向けて職場でのマナーや協調性を身に付け、社会参加と自立をめざしています。



トイレットペーパー購入で応援を

障がい者が自立した生活をするには、現在の社会では簡単なことではなく、厳しい現実と直面することもしばしばあります。一方で、私たちは、障がい者とともに活動していく中で、地域単位で少しずつ社会を変えていけることも体験してきました。障がい者の自立生活を実現していくために、私たちは今、より多くの人との力とつながりが、そして、皆様の力添えがどうしても必要だと痛感しています。一日150個トイレットペーパーの生産が増えれば新たに1人の働く場を増やす事ができます。

ぜひ私たちのトイレットペーパーをご利用していただき、障がい者の自立を応援してください。



特定非営利活動法人 支援センター あんしん
ワークセンター あんしん

会長 本田 欣二郎

〒948-0065 新潟県十日町市子371 (高田町3丁目西)

TEL 025-757-5511 FAX 025-757-1144

E-mail anshin@mx51.et.tiki.ne.jp

<http://mx51.et.tiki.ne.jp/~ansin/>



障がい者福祉作業所 ワークセンターあんしん
 毎日150個のトイレットペーパーで障がい者1人の雇用が生まれます。

●年会費 (3ヶ月毎にお届けします)

A会員 1口(2~3人家族用)	20個×4回=	2,960円	一年分
B会員 1口(3~5人家族用)	50個×4回=	7,400円	一年分
C会員 1口(8~10人オフィス用)	100個×4回=	14,800円	一年分

●単品もOK

20個入 740円	50個入 1,850円	100個入 3,700円
2枚重ね(ダブル)50個入 2,000円		

1箱の送料(100個以下同額)

佐渡...1,400円 沖縄...2,750円

十日町市・南魚沼市・魚沼市 小千谷市・津南町	左記以外の新潟県 (佐渡を除く)	関東甲信	東北・北陸・中部 関西・中国	北海道・四国・九州
無料	400円	600円	800円	1,000円
3日以内(平日)				4日以内(平日)

ご紹介者:

様

年 月 日

お名前		請求先が異なる場合	
様		様	
ご住所		ご住所	
TEL ()	ご担当	TEL ()	ご担当
会 員	A会員 () 口	B会員 () 口	C会員 () 口
単 品	20個入 () 袋	50個入 () 箱 □包装なし	100個入 () 箱 □包装なし
	ダブル50個入 () 箱		

() に必要な個数をご記入ください。

包装なしとあるものは選択可能です。チェックしてください。

FAX 025-757-1144 お電話 025-757-5511

NPO 法人「支援センターあんしん」 入会・賛助のお願い

特定非営利活動法人
支援センターあんしん
会長 本田欣二郎

設立の趣旨

ノーマライゼーション※が叫ばれる今、障害を持った方々が施設の中で一生を暮らす道を選ばずに、顔なじみやよく知った人々の居る街中で共に係わり合いを持ちながら、在宅グループホームなど、あるいは自立して住む道を選びたいと希望する方々が増えつつあります。

障害を持つ人も持たない人も、生きている喜びを感じながら地域の一員として生活するためには、目の弱い人にはメガネが、足腰の弱い人には杖が必要とされるように、障害児(者)には、その暮らしを支えるマンパワー(在宅支援サービス)が必要とされています。

本 NPO 組織は、平成 15 年 4 月、国の福祉制度が大きく変わる事を機会に今までの制度の中では支援の手が届きにくい所に、目を向けてサポートしようとする民間の組織です。

一市民としてこの活動にご理解を賜り、どうか支援の一助をいただければ幸いに存じます。

※障害者に、「すべての人が持つ通常の生活を送る権利を possible の限り保障」することを目標にした、デンマークの知的障害者福祉の取り組みから生まれた理念。

-----きりとり-----

年 月 日

住 所	〒 ー		
氏 名		電話番号	
特定非営利活動法人 支援センター「あんしん」に入会・賛助いたします。 ※ 番号に○をお付けください。			
1	正会員 入会金 10,000 円	年会費 一口 5,000 円 (口)	円
2	賛助会員 (個人)	年会費 一口 2,000 円 (口)	円
3	賛助会員 (法人)	年会費 一口 10,000 円 (口)	円
4	特別賛助会員	月 額 一口 10,000 円 (口)	円
5	ボランティアに登録する	平日・休日・1ヶ月 () 日程	